

心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究
にご参加いただいた患者さんへ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	身体的フレイル指標を組み込んだ心不全予後リスクスコアの開発
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学 医学部長 笠井謙次
研究責任者	(所属) 循環器内科 (職名) 特命教授 (氏名) 山田純生
研究の対象となる方	2015 年 9 月から 2018 年 12 月までに心不全治療のために入院し、「心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究」に参加された患者さんのうち、新たな研究に利用されることに同意された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2029 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 心不全で入院した患者さんが、再度入院する可能性を予測するための方法を開発することです。 〔利用方法〕 「心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究」では既に、ご本人の同意の下、カルテやアンケートによる情報と、退院から 2 年以内に入院またはお亡くなりになったか否かの情報を得ました。今回の研究では、これらの情報を使って、再度入院する可能性が高い方を予測するための計算式を開発します。 〔外部の機関との情報のやり取り〕 「心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究」の情報は、研究代表者である山田純生が 2022 年まで在籍した名古屋大学大学院医学系研究科に保管されています。今回の研究を実施するにあたり、患者さんの個人が特定できる情報を除外した電子ファイルにパスワードをかけて、名古屋大学大学院から愛知医科大学にメールで送付します。 本研究の共同研究機関である神戸市看護大学には、上記のパスワード付電子ファイルを、本学からメールで送付します。

	〔外部への提供開始日〕 全ての研究機関で機関の長の研究許可が得られた後、すみやかに
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：カルテやアンケートから調査した基本的属性、病態情報、生活機能等
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	愛知医科大学医学部内科学講座（循環器内科） 山田純生 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻 足立拓史 神戸市看護大学専門基礎科学領域 神谷訓康
試料・情報を利用する学外の者	愛知医科大学医学部内科学講座（循環器内科） 山田純生 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻 足立拓史 神戸市看護大学専門基礎科学領域 神谷訓康
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は，2027 年 12 月 31 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部内科学講座（循環器内科） 担当者：（職名）特命教授 （氏名）山田純生 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22120）